

■コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当たり1.79人と、前週と比べて約2倍に増加しています。

ヘルパンギーナは、突然の発熱と口の中の水疱を特徴とするウイルス性の疾患で、潜伏期間は2～4日です。乳幼児を中心に、毎年夏季に流行がみられます。(次頁参照)

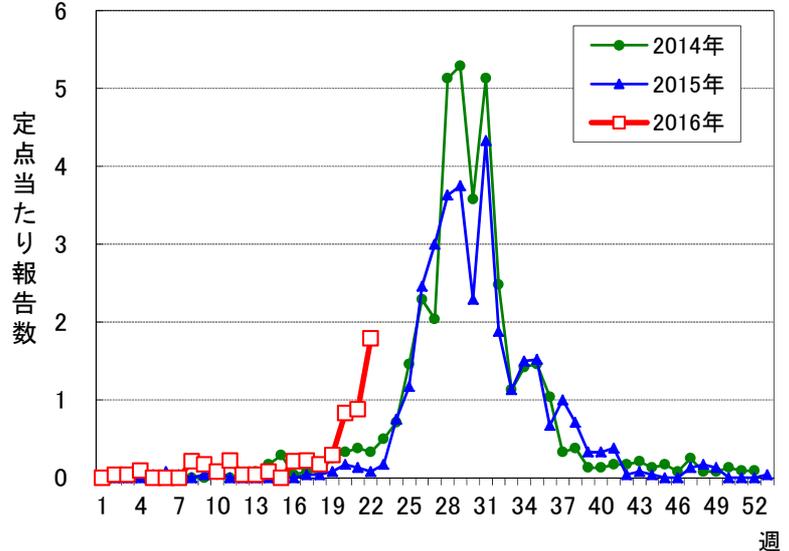
2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.96人と、前週と比べてやや増加しました。感染を広げないようにするには、オムツや吐物の適切な処理、手洗いの徹底などが重要です。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は8件となりました。

ヘルパンギーナの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減状況										
												急増減	増減	微増減								
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.17		小児科	流行性耳下腺炎	22	0.92	0.68	⇒	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.67	⇒	小児科	RSウイルス感染症	7	0.29	0.08		増減	⇒	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	2.71	2.65	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03		微増減	⇒	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減								
	感染性胃腸炎	191	7.96	7.54	⇒	眼科	流行性角結膜炎	9	1.29	1.03		横ばい	⇒	ほとんど増減なし								
	水痘	10	0.42	1.23	⇒		細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。										
	手足口病	1	0.04	1.38		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.08		<table border="1"> <tr> <td>インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>小児科定点数</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>眼科定点数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>基幹定点数</td> <td>7</td> </tr> </table>			インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37	小児科定点数	24	眼科定点数	7	基幹定点数	7
	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37																				
	小児科定点数	24																				
	眼科定点数	7																				
	基幹定点数	7																				
	伝染性紅斑	21	0.88	0.33	⇒	マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.23		(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)											
突発性発しん	13	0.54	0.58		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-														
百日咳	-	-	0.11		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14															
	ヘルパンギーナ	43	1.79	0.47	↑																	

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	63	男性(70歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
5	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	7	女性(80歳代)
5	急性脳炎	2	7	男性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・1人
5	後天性免疫不全症候群	1	8	男性(40歳代)・感染者
5	梅毒	1	8	男性(30歳代)
5	破傷風	1	1	男性(70歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎					
		第18週	第19週	第20週	第21週	第22週	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週
	広島市	4	8	28	95	9	6	16	5	-	4	11	-	-	6	1	-	-	-	-	26					
	広島市	13	13	42	172	13	5	19	8	1	7	25	3	-	5	-	-	2	-	-	6					
	広島市	9	9	54	205	7	2	32	8	-	20	13	1	-	5	-	-	1	-	-	5					
	広島市	2	16	65	173	19	3	14	19	1	21	23	6	-	5	-	-	1	-	-	3					
	広島市	-	16	65	191	10	1	21	13	-	43	22	7	-	9	-	-	3	-	-	1					
定点当たり	広島市	0.11	0.35	1.22	4.13	0.39	0.26	0.70	0.22	-	0.17	0.48	-	-	0.75	0.14	-	-	-	-	3.71					
定点当たり	広島市	0.35	0.54	1.75	7.17	0.54	0.21	0.79	0.33	0.04	0.29	1.04	0.13	-	0.71	-	-	0.29	-	-	0.86					
定点当たり	広島市	0.24	0.38	2.25	8.54	0.29	0.08	1.33	0.33	-	0.83	0.54	0.04	-	0.71	-	-	0.14	-	-	0.71					
定点当たり	広島市	0.05	0.67	2.71	7.21	0.79	0.13	0.58	0.79	0.04	0.88	0.96	0.25	-	0.71	-	-	0.14	-	-	0.43					
定点当たり	広島市	-	0.67	2.71	7.96	0.42	0.04	0.88	0.54	-	1.79	0.92	0.29	-	1.29	-	-	0.43	-	-	0.14					
全国	第20週	0.48	0.56	2.83	6.16	0.36	0.14	0.42	0.58	0.02	0.21	0.95	0.10	0.01	0.66	0.02	0.06	0.53	0.02	0.37						
全国	第21週	0.29	0.73	2.97	6.29	0.56	0.18	0.42	0.65	0.02	0.25	0.85	0.11	0.02	0.65	0.02	0.06	0.56	0.01	0.30						

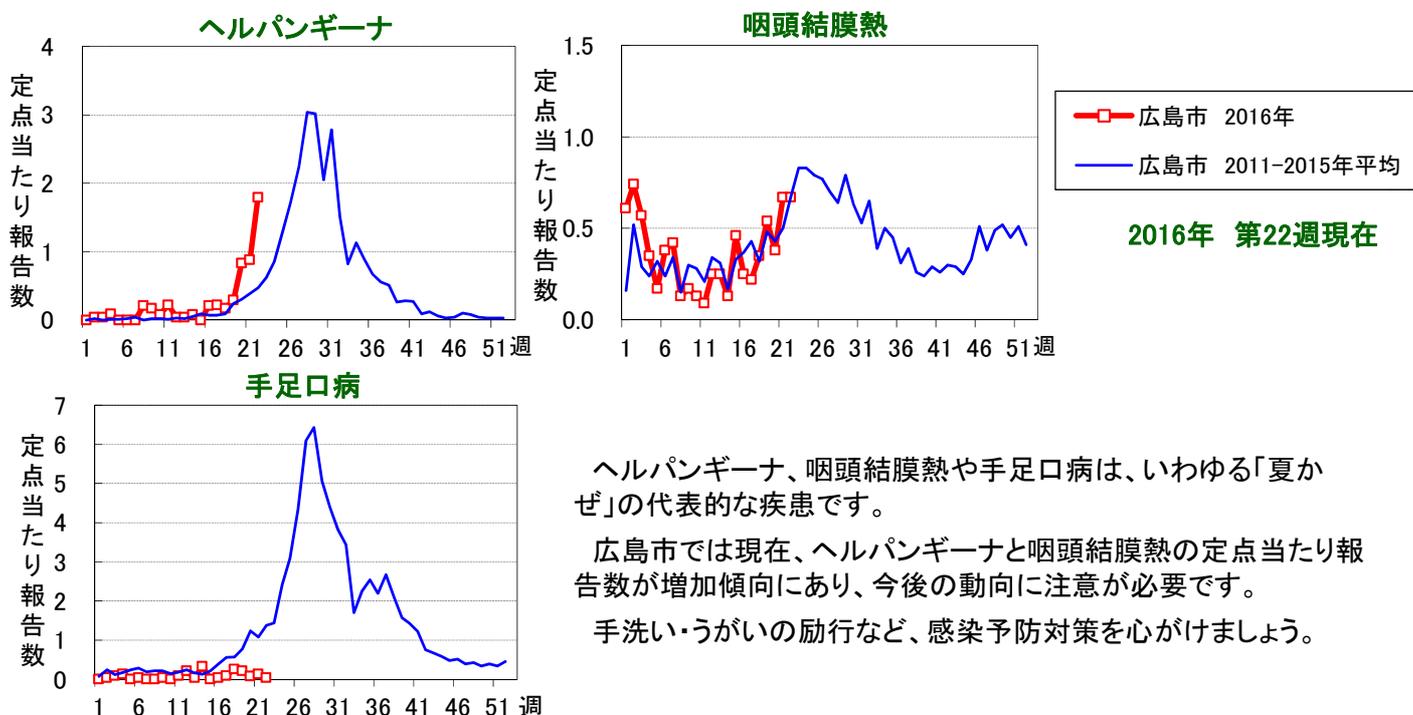
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱 下気道炎 肺炎	59	男	2016/03/01	気管吸引物	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 気管支炎	4	男	2016/04/20	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の疾患	不詳	0	男	2016/04/20	糞便	アデノウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】夏季に流行する感染症の動向(広島市)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第22週(5月30日~6月5日)